

伊賀あや

(バイオリン)

AYA IGA

5歳よりバイオリンを始める。

東京藝術大学音楽学部器楽科を経て、同大学大学院音楽研究科(修士課程)修了。

在学中、財団法人中村積善会およびローム・ミュージック・ファンデーション奨学生。

第35回全日本学生音楽コンクール大阪(西日本)大会バイオリン部門小学校の部第3位。

アジア・ユース・オーケストラ(AYO)の日本代表メンバーに選ばれ、ヨーロッパ、アメリカ、東南アジア各国を演奏旅行。

国連本部、ホワイトハウス、香港返還イベント等出演。ソリスト、コンサートマスターもつとめる。

AYO選抜メンバーとして、クイーン・エリザベス2世号船内コンサート、APEC大阪会議開催記念演奏会参加。

阪神大震災救援チャリティーコンサート出演。

これまでに各地リサイタルをはじめ、室内楽、オーケストラ等出演。

岸誠記念小樽芸術賞特別賞受賞。

現在、ヤマハミュージックアベニュー銀座講師、東急セミナーBE二子玉川校講師。

青木祐介

(チェロ)

YUSUKE AOKI

11歳よりチェロを始める。

東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。

第4回、第7回アジア・ユース・オーケストラ(AYO)に日本代表メンバーとして、東南アジア、ヨーロッパ各地に演奏旅行。

クイーン・エリザベス2世号、サガフィヨルド号各船内にて演奏。

APEC大阪会議開催記念演奏会でAYO室内オーケストラに選ばれ参加。

各地リサイタル・室内楽演奏会を企画・出演の他、阪神大震災救援チャリティーコンサート出演。

文化庁芸術創造基盤整備事業日本作曲家協議会「日本の作曲家'98」に出演。NHK-FMにて放送される。

岸誠記念小樽芸術賞特別賞受賞。

東邦音楽大学講師を務める。

現在、東急セミナーBE二子玉川校チェロ講師。

石田多紀乃

(ピアノ)

TAKINO ISHIDA

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、および同大学を経て、1992年同大学大学院修士課程修了。これまでにピアノを雄倉恵子、二宮裕子、故井上直幸、高良芳枝、故エディット・ピヒト＝アクセンフェルト、テオドール・パラスキヴェスコ、アレクサンダー・イェンナーの各氏に、室内楽を金昌国、岡山潔、菅沼準二の各氏に師事。

音楽に対して真摯に取り組み、自然な流れと美しい響き、そして説得力の強い表現を持ち味とする。レパートリーはバッハから現代まで幅広いが、中でも内容の奥深い作品の演奏には定評がある。

デビュー20周年を迎え、1994年より毎年プログラムを変えて東京で行っている自主企画のソロ・リサイタルも20回を超える。1997年より2000年まで東京藝術大学音楽学部の弦楽科伴奏助手を、2002年より2013年まで洗足学園高等学校音楽科の非常勤講師を務める。リサイタルでの共演、音楽祭での公式伴奏者など室内楽、伴奏での活動も多く、又故ゲルハルト・ボッセ氏指揮の神戸市室内合奏団、九州交響楽団と協演するなど、多岐にわたって活躍している。好評を博した1997年のリサイタル(J.S.バッハ: ゴールドベルク変奏曲)のライブCD(LN3229)に続き、「ラ・ヴァルス」(WWCC7466)、「フランク: プレリュード、コラールとフーガ」(WWCC7568)がリリースされている。

2010年より作曲家・ピアニストの原田愛氏とピアノ・デュオを組み、2012年には異なるプログラムでの2日連続コンサートを東京で開催。年1回の定期公演に加え、フォルテピアノと現代のピアノの弾き比べコンサートなど、いろいろな世代と音楽を通して対話する事を大切に、各地で精力的に活動を続ける。2016年、デュオでのCD「～フランスをめぐって～古曽志洋子 こねこのポール」(WWCC7819)をリリースする。

現在、洗足学園音楽大学の非常勤講師を務める。

■オフィシャル・サイト : <http://takinoishida.com>